

会報

過去に学び
次世代への継承

2012～2013年度 会長 黒島 一生

第2708回 5月7日(火)

2012～2013

本日のプログラム

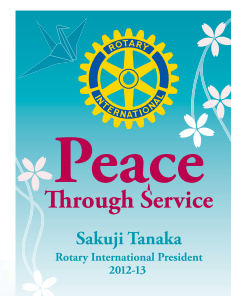
「後見人制度について」

國谷 大輔 会員

次週のプログラム 5月12日(日)

移動例会「お花見家族例会」

奉仕を通じて平和を
心・家族・地域・世界に平和の恩恵を



- 例会場/ホテル函館ロイヤル TEL (0138) 26-8181 (代)
- 例会日/毎週火曜日 12:30～13:30
- 事務所/ニチロビル4F TEL (0138) 23-3870 FAX (0138) 22-2251
- 会長/黒島一生 ● 副会長/戸嶋浩 ● 会長エレクト/池垣信一
- 幹事/佐藤真一 ● 副幹事/五十嵐正
- 友好クラブ/青森東ロータリークラブ・長崎東ロータリークラブ

第2707回例会 2013年4月23日(火) 天候 晴

月間テーマ

■ロータリーソング それでこそロータリー

■司会 黒島 一生 会長

■ゲスト

函館市新幹線対策室 主査 工藤 倫道 氏

主事 江良 規生 氏

■ビジター

奨学金学生 石岡 舞生 さん、徳永 颯 さん

■会長報告

1、4月20日(土) 10・11グループ I Mがロワジールホテルにて開催されました。

2、米山記念奨学会より國谷会員へ米山奨学生カウンセラーの委嘱状が届いておりますのでお渡しします。

3、理事会報告:

①森RC観桜会について会費2,000円をクラブ負担とすること承認。

②米山奨学金支給について5月7日例会にて支給する。

■委員会報告

1、クラブ奨学会: クラブ奨学生へ奨学金を支給いたします。

■幹事報告

1、第5回クラブアッセンブリーのご案内をいたしました。5月21日午後6時半よりロイヤルホテルにて開催いたしますのでご出席よろしくお願いいたします。

2、第23回日本ロータリー親睦ゴルフ北海道大会のご案内が届いております。6月17日恵庭カントリー倶楽部にて開催されます。参加ご希望の会員は幹事までお知らせください。

3、長崎東RCより会報が届いておりますので回覧願います。

4、次週当クラブ例会は自主休会へ変更しております。

5、5月1日函館北RC、2日函館RC例会は自主休会へ変更しております。

・環境影響評価(平成10年9月～平成14年1月)

・工事実施計画の認可申請

(平成14年1月) ※札幌まで

(平成17年4月) ※新函館まで

・認可(平成17年4月27日) ※新函館まで

・起工式(平成17年5月22日)

・開業予定(平成27年度末)

◎駅とルート

区間: 新青森～札幌 延長: 約360km

建設費: 約2兆2,208億円

※トンネル全長255.5km(全体の約71%)

◎建設財源

新幹線建設費の負担内訳		
建設費総額		
	国負担: 2	地方負担: 1
JRからの整備新幹線貸付料(平成15年度から新幹線建設による借入金の償還に充当)		
年度	総事業費	うち北海道新幹線(新青森～新函館)
平成16年度	2,115億円	
平成17年度	2,195億円	30億円
平成18年度	2,265億円	60億円
平成19年度	2,637億円	100億円
平成20年度	3,264億円	178億円
平成21年度	4,639億円	487億円(補正予算150億円)
平成22年度	2,600億円	492億円(補正予算42億円)
平成23年度	2,950億円	880億円
平成24年度	3,095億円	1,125億円
平成25年度	2,660億円	1,000億円
※累計4,352億円 進捗率79%		

2、新函館・現函館間の

アクセス

◎新函館駅への

アクセス



3、並行在来線の問題

(1) 並行在来線とは

整備新幹線に並行する在来線で、新幹線の開業と同時にJRの経営から分離される鉄道(路線)のこと。

※並行在来線に関する厳密な法令上の規定はない。

(2) 並行在来線に関する取り決め

国(政府与党の合意事項)は、平成8年12月に以下の内容を取り決め。

具体的なJRからの経営分離区間については、新幹線の工事実施計画の認可前に沿線地方公共団体とJRの同意を得て確定する。

「北海道新幹線について」

函館市新幹線対策室

主査 工藤 倫道 氏

1. 北海道新幹線の概要

◎北海道新幹線開業までの経過

- ・整備計画決定(昭和48年11月)
- ・駅、ルート公表(平成10年2月)



(3) 並行在来線と新幹線の関係

整備新幹線の着工5条件

- ・安定的な財源見通しの確保。
 - ・収支採算性。
 - ・投資効果。
 - ・営業主体としてのJRの同意。
 - ・並行在来線の経営分離についての沿線自治体の同意。
- この5条件をすべてクリアしないと新たな新幹線の建設はできない。

(4) 函館市が関係する並行在来線

①江差線（五稜郭・木古内間）

[概要]

- ・営業距離：37.8km
- ・区間内駅数：12駅
- [収支予測等調査結果]
- ・輸送密度：760人／日・km
- ・三セク鉄道方式の公的負担額：51.6億円（30年間累計）

②函館本線（函館・小樽間）

[概要]

- ・営業距離：253km
- ・区間内駅数：56駅
- ・輸送密度（H23）：函館・小樽間 395人／日
（うち函館・渡島大野間 1,515人／日）
- ・沿線自治体：15市町

[当面の対応]

並行在来線に地域交通の確保に関する調査研究を行うこととして、課題整理・取組事項の検討を行うため、後志管内・渡島管内ごとにブロック会議を設置。地域交通の確保に関する方向性の決定時期を開業5年前程度とした。

4、青函共用走行区間について（新幹線と貨物列車のすれ違い問題）

◎青函共用走行区間の課題

高速で走行する新幹線車両（260km/h）と貨物列車（100km/h）がすれ違うことで、貨物コンテナが破損する可能性があるなど、安全性の確保に懸念が生じたことから、同区間を走行する新幹線の速度を140km/hに制限。所要時間18分増加。

◎当面の対応

- ・「時間帯区分案」により、開業1年後の平成29年春（防音壁等の完工時期）から1年後のダイヤ改正時、平成30年春に安全性の確保に必要な技術の検証が円滑に進むことを前提として、1日1往復の高速走行の実現を目指す。

目指す。

- ・上記と並行して、「すれ違い時減速システム等による共用走行案」及び「新幹線貨物専用列車導入案」の技術的実現可能性の検討を深度化し、開発の方向性の見通しを得る。

5、開業に向けた取り組み

◎新幹線開業によって懸念されること

①ストロー現象

大都市圏への移動時間短縮により、企業が地方の支店や営業所を大都市圏の営業拠点へ統廃合を進めるおそれがある。他の商圏に購買力が流出し、地元での消費低下が懸念される。

②並行在来線

新幹線開業に伴い、JR北海道から経営分離される路線の取り扱い。（先行県では多額の赤字）

◎函館市の取り組み

①新幹線で未来を創るまちづくり構想

新幹線開業効果を最大限に活かしたまちづくりを進めるための「指針」として庁内検討組織により策定。

②北海道新幹線開業はこだて活性化アクションプラン

まちづくり構想を踏まえ、新函館開業までに行うべき施策の「行動計画」として官民協働の組織（北海道新幹線新函館開業対策推進機構）により策定。

◎アクションプランに基づく取り組み

①北関東・東北地域のプロモーション事業

- ・メインターゲットは、北関東・東北地域。
- ・北海道物産展やイベント会場でのPR。

②要望活動

③人材育成

④啓発活動

新会員

フクシマ ミツギ

福嶋 貢

S 8.1.14

Mitsugi Fukushima

職業分類：酒販売

’13.04入会 親睦活動委員会

合資会社山二男澤商店

B/040-0035 函館市松風町9番10号

T.22-6111 F.23-0685

H/042-0932 函館市湯川町2丁目32番28号

T.57-1586

推薦者：黒島一生 会員

ご家族：慶子夫人、朗子 長女

結婚記念日：5月7日

■ニコニコボックス

黒島会長、佐藤真一幹事 先日のIMたくさんのお席ありがとうございました。親睦活動委員会の皆様ごろうさまです。

宮崎あけみ会員 大川町に新店舗オープンしました。

吉川会員 函館市新幹線対策室 工藤主査様、江良主事様、本日よりよろしくお願いします。

地区協議会参加者一同 地区協議会へ行って来ました。

■広告料 (株)エイワアルミ産業 松山茂会員

(有)おもと薬局 宮崎あけみ会員

■出席報告

- ・4月23日(火) 47名中出席27名(免除1名)
- ・4月9日(火) 出席率82.98%

市内他クラブ プログラム

5月8日(水) 函館北RC 早朝例会

5月9日(木) 函館RC 卓話

5月10日(金) 函館五稜郭RC 夜間例会

5月13日(月) 函館亀田RC 卓話

◆テレホンサービス 26-3170◆

(有)森元不動産鑑定事務所

森元 浩 会員

若松町2-5 電話 22-3211

(株)ホテル函館ロイヤル

南部 知正 会員

大森町22-6 電話 22-2637